

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	水島港港湾整備における測量技術の高度化研究委託	
業 務 概 要	計画準備 1式 UAVグリーンレーザー計測技術の実用性検証と手引き書の作成 1式 自律航行小型船舶の測量技術の実用性検証と手引き書の作成 1式 三次元データを活用したBIM/CIM モデル作成の検証 1式 協議・報告 3回 成果物 1式	
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官中国地方整備局宇野港湾事務所長 笹岡 実也 国土交通省中国地方整備局宇野港湾事務所 玉野市築港1-1-3	
契 約 年 月 日	令和6年7月11日	
契 約 業 者 名	国立大学法人岡山大学	
契 約 業 者 の 住 所	岡山県岡山市北区津島中1丁目1番1号	
契 約 金 額	¥3,637,055 (税込み)	
予 定 価 格	¥3,637,055 (税込み)	
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、UAVグリーンレーザー計測技術の高度化検討により、土砂処分場を中心とした水島港港湾整備に係る海域において、濁度の影響に対応した新たな測深技術の開発やその運用法（計測ノウハウ）の確立を図るものである。</p> <p>また、水島港の港湾整備に必要な土砂処分場や浚渫土砂の活用方法として検討する人工干潟のように有人船の運用が困難な浅海域を含む広範囲を効率的かつ短時間に測量する方法を開発するために、自律航行小型船舶による測量及びAI技術を用いたデータ解析・補正やその運用法（計測ノウハウ）の確立を図るものである。</p> <p>業務の遂行にあたっては、水域においてグリーンレーザー、ドローン技術の開発及び活用に関して多くの実績と検証実績、幅広いノウハウを有し、取得データを応用した研究実績を有していること、また、自律航行小型船舶によるマルチビーム測量の活用実績やAI技術を用いたデータ解析・補正のそれぞれの研究ノウハウを有していることが必要である。</p> <p>当局において調査した結果、国立大学法人岡山大学は、グリーンレーザー計測に関する豊富な研究実績を持ち、土木学会等で論文発表や、河川構造物での検証実績を有するほか、自律航行小型船舶によるマルチビーム測量に関しても、AI技術を利用したデータ補正の研究を実施している。以上のことから、本業務を遂行するに必要な十分な能力を有していると判断した。</p> <p>なお、国立大学法人岡山大学以外にも、本業務を遂行に必要な能力を有する者が存在する可能性があることから、令和6年5月29日から令和6年6月18日までの期間において、本業務の受託希望者の公募を行ったが、参加意思確認書の提出者はなかった。</p> <p>以上の理由により、会計法第29条の3第4項、予決令102条の4第3号に基づき、国立大学法人 岡山大学と随意契約を行うものである。</p>	
業 務 場 所	宇野港湾事務所指定の場所	
業 種 区 分	建設コンサルタント等	
履 行 期 間 (自)	令和6年7月11日	
履 行 期 間 (至)	令和7年3月13日	
備 考		